

報道関係各位

2022年6月1日  
一般財団法人 山王美術館

## 山王美術館

### 開館記念展「山王美術館 ベストコレクション展」

2022年9月2日（金）～2023年1月30日（月）

一般財団法人山王美術館は、2009年の開館から13年の時を経て、場所も新たに京橋・OBPへと移転し、待望の独立館として2022年9月2日にオープンいたします。開館記念展では、これまでに収集したコレクションの中より山王美術館を代表する作品を厳選し、さらに近年新たに収集した作品もあわせて紹介いたします。フランス近代絵画から日本洋画、日本画、陶磁器・彫刻まで、山王美術館のコレクションを一望する展覧会となります。新たな美術館での芸術作品との出会いを、心ゆくまで美に向き合う満ち足りたひと時を、ぜひともお楽しみください。



完成イメージ図

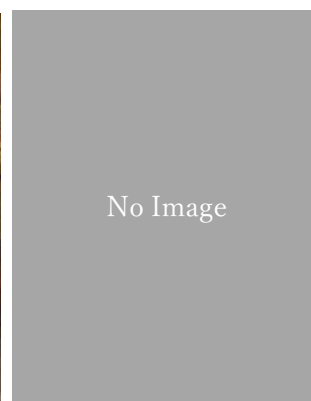
## 本展のみどころ

### 1) 山王美術館を代表するコレクションを一堂に展示

ホテル モントレが50年以上かけて収集したコレクションを展示する施設として開館した山王美術館。そのコレクションは、梅原龍三郎、佐伯祐三、小磯良平をはじめとする関西ゆかりの画家達の作品を中心としながら、日本の洋画壇に大きな影響をあたえたルノワール、ボナールなどのフランス近代の絵画、さらに新たな時代の日本画を模索した横山大観、小林古径らにいたるまで多岐にわたります。本展では山王美術館の語る上で欠かせることのできない、代表的なコレクション群を一堂に展示いたします。



1



2



3

①ピエール＝オーギュスト・ルノワール《裸婦》1918年

②藤田嗣治《家馬車の前のジプシー娘》1956年、

© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 G2811

③小林古径《琴》1929年

## 2) .新コレクションを初公開

山王美術館では新美術館のオープンに向けて、既存作家の作品の拡充を図るとともに、新たな作家の作品も収集し、より魅力あるコレクションの形成に取り組んできました。岸田劉生、ロートレック、ドガ、デュフィ、パスキン、ユトリロなど、近年収蔵した作品を本展にて初公開いたします。



4

5

【初公開】④アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《タピエ嬢》1882年

【初公開】⑤エドガー・ドガ《髪を調整するダンサー》1900年頃

【初公開】⑥モーリス・ユトリロ《雪のサン＝リュスティック通り

(冬のサクレクール)》1940年頃



6

## (3) .黒田清輝 幻の大作、125年以上ぶりの公開！

《夏（野遊び）》(1892年)は、黒田清輝が10年にも及ぶフランス留学をおえる前年に、グレーの地にて取り組んだ作品です。帰国後、1895年の明治美術会秋期展覧会に出品されましたが、以降、戦後に開催された数多くの展覧会・回顧展にも出品されることはなく、長らく所在不明とされてきました。

本展では、新たなコレクションに加わった《夏（野遊び）》(1892年)を、127年ぶりに公開いたします。



7

【初公開】⑦黒田清輝《夏(野遊び)》1892年

## (4) .「ここでしか会えない芸術作品」

2009年のオープン以来、コレクションのみによる展覧会を開催してきた山王美術館。開館記念展では、山王美術館を代表する作品群、新収蔵品群、さらに黒田清輝幻の大作と、山王美術館コレクションの全容をご紹介しますが、その何れもが「ここでしか会えない芸術作品」です。新美術館においても、思いのままに継承しつつ、より一層の充実を図りながら、新たな芸術作品との出会いの場を創出してまいります。

## 本展の構成

新たな美術館の展示スペースは、5階から3階の3フロアとなります。

本展では、5階「近代日本画」、4階「近代フランス絵画」、3階「近代日本洋画」と、フロアごとに趣をかえて、多岐にわたる山王美術館コレクションを展示いたします。

### 一章) . 「新たなる表現を求めて 近代日本画」

5階展示室では、山王美術館が所蔵する「近代日本画」の代表作品を展覧いたします。

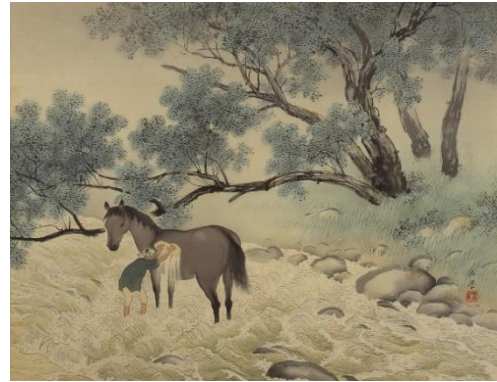
「日本画」とは、明治初期に西洋からもたらされた洋画・油絵に対比する概念として用いられた名称です。西洋絵画の技法や思潮がつぎつぎともたらされる中、伝統的な日本の絵画もまたその影響をうけ、近代化へと向かっていきます。以後、大正・昭和へと続く100年の歩みの中で、伝統への回帰、あるいは洋画との融合など、かつてない試練と探求を重ねながらも、近代日本画の世界は実り豊かに広がっていきました。本展ではこうした激動の時代にあつて、新たな日本画創生の礎を築いた、横山大観、小林古径をはじめ、新時代の美人画を描いた、上村松園、伊東深水、さらには斬新な感覚で表現方法を一新した東山魁夷、杉山寧らの作品を展示いたします。

出品作家

横山大観、川合玉堂、上村松園、橋本関雪、小林古径、前田青邨、堂本印象  
福田平八郎、伊東深水、上村松篁、上村淳之、東山魁夷、杉山寧 など



8



9



10

⑧横山大観《日本心神》1946年

⑨川合玉堂《柳溪洗馬》

⑩上村松園《よそおひ》1949年

## 二章) .「フランス近代絵画の潮流」

つづく 4 階展示室では、19 世紀から 20 世紀にかけての「フランス近代絵画」を展示いたします。バルビゾン派以降、印象派、象徴主義、ナビ派、フォーヴィスムと、さまざまな主義や美学のもと、多様に展開してきたフランス近代絵画。産業革命を契機とする都市の近代化の中で、絵画もまたルネサンス以来の価値観が大きく変革することとなりました。コロー、ミレーのバルビゾン派から、キスリング、藤田嗣治らが活躍したエコール・ド・パリまで、フランス近代絵画の流れをご覧ください。

### 出品作家

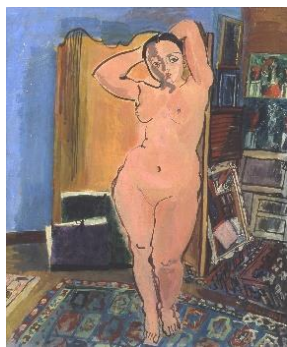
ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー、ジャン＝フランソワ・ミレー、クロード・モネ  
ピエール＝オーギュスト・ルノワール、アルフレッド・シスレー、エドガー・ドガ、  
オディロン・ルドン、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック、ピエール・ボナール  
モーリス・ド・ヴラマンク、ラウル・デュフィ、フェルナン・レジェ、  
モイーズ・キスリング、ジュール・パスキン、モーリス・ユトリロ、藤田嗣治 など



11



12



13



14



15

①ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー《湖畔の大きな樹木（ヴィル・ダヴレー）》1870 年頃

②アルフレッド・シスレー《サン＝マメスのマロニエの木》1880 年

【初公開】③ラウル・デュフィ《裸婦立像》1928 年

【初公開】④フェルナン・レジェ《井戸の縁石》1949 年

【初公開】⑤ジュール・パスキン《横たわる裸婦》1929 年

### 三章) .「日本近代洋画の成立をめざして」

さいごに 3 階展示室では、明治維新以降に大きく発展をとげた「近代日本洋画」を展示いたします。

明治政府による欧化政策により国家の近代化が進む中、芸術の世界においても西洋の芸術作品はもちろんのこと、西洋美術の概念や技法などが移入されました。工部美術学校の創設、ついで東京美術学校に西洋画科設置されるなど本格的な西洋美術教育が展開・充実するに伴い、明治美術会、白馬会など団体活動が活発化し、さらに西欧美術の知識や技法を学ぶため多くの画家達が欧州へと留学を果たします。西欧美術の受容にはじまった日本の近代洋画は、やがて西欧美術の技法をふまえながらも日本独自の洋画の確立が模索されるようになるのです。

本展では、黒田清輝、梅原龍三郎、岸田劉生、金山平三、佐伯祐三、小磯良平、荻須高德らの絵画とあわせて板谷波山、富本憲吉らの陶芸作品を展示いたします。

#### 出品作家

黒田清輝、金山平三、梅原龍三郎、岸田劉生、佐伯祐三、荻須高德、小磯良平、小出楢重、坂本繁二郎、平櫛田中、板谷波山、富本憲吉、河井寛次郎 など



16



17



18



19



20

【初公開】⑯岸田劉生《麗子肖像》1920年

⑰金山平三《花》1926年頃

【初公開】⑱小出楢重《窓》1922年

⑲佐伯祐三《パリの街角》1925年

⑳板谷波山《葆光彩磁葡萄文香炉》

## 開催概要

展覧会名	開館記念展 山王美術館 ベストコレクション展 The Best Collection of the Sanno art Museum
主催	一般財団法人 山王美術館
会期	2022年9月2日（金）-2023年1月30日（月）
会場	山王美術館
開館時間	10:00~17:00（入館は16:30まで）
休館日	火曜日・水曜日（ただし、11/23は開館） 年末年始（12/27~1/4）
入館料	一般 1,300円 大学生・高校生 800円 中学生以下 500円（保護者同伴に限り2名様まで無料）



### 山王美術館

〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番27号

TEL 06-6942-1117

<https://www.hotelmonterey.co.jp/sannomuseum/>

### アクセス

- JR 環状線・東西線「京橋」駅、  
西口改札・南口改札より徒歩5分
- 京阪本線「京橋」駅、片町口改札より徒歩5分
- 大阪メトロ長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅、  
4番出口より徒歩5分

## 新美術館概要

名称 一般財団法人 山王美術館  
所在地 〒540-0001  
大阪府大阪市中央区城見 2 丁目 2 番 27 号

建築概要

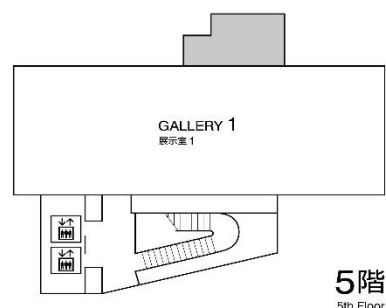
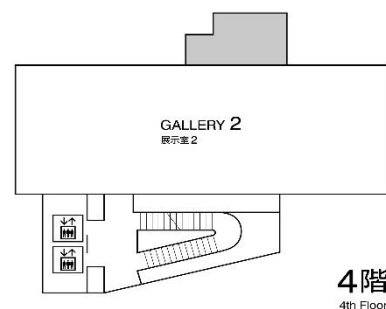
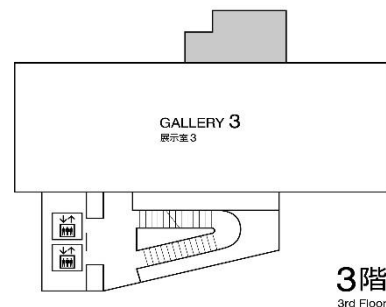
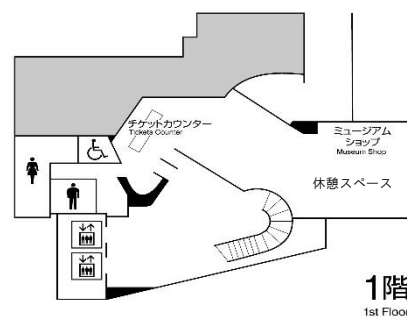
- ・延べ面積 2,374.86 m<sup>2</sup>
- ・展示面積 749.47 m<sup>2</sup>
  - 5 階展示室 250.66 m<sup>2</sup>
  - 4 階展示室 248.15 m<sup>2</sup>
  - 3 階展示室 250.66 m<sup>2</sup>
- ・階数 地上 5 階

アクセス

JR 大阪環状線、JR 東西線  
「京橋」駅より徒歩 5 分

京阪本線「京橋」駅より徒歩 5 分

大阪メトロ長堀鶴見緑地線  
「大阪ビジネスパーク」駅より徒歩 5 分



### ■本プレスリリースについてのお問合せ

山王美術館 開設準備室 担当：亀井・本田

TEL.06-6942-1117(直通 | 火曜日～金曜日 10時～17時)

FAX.06-6942-8700 Email [museum@hotelmonterey.co.jp](mailto:museum@hotelmonterey.co.jp)

〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-2-3 ホテルモントレグラスミア大阪 22F

\*6月頃に新事務所へ移転を予定しております。移転の際には、改めてご連絡申し上げます。



山王美術館  
SANNO ART MUSEUM

### 開設準備室

〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-2-3 ホテルモントレグラスミア大阪 22F

TEL.06-6942-1117(直通)